

- 新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ -

愛媛県内において、6月25日時点で報告された新型コロナウイルス感染者は2,752人となりました。現在、愛媛県は「感染警戒期」となっています。『 飲酒を伴う懇親会等、大人数や長時間に及ぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わり』の5つの場面に注意し、感染予防に努めるとともに、まん延防止等重点措置地域等(緊急事態宣言地域を含む)との不要不急の往来や出張等の自粛をお願いします。発熱等の症状がある場合、あらかじめ、かかりつけ医等の身近な医療機関や「受診相談センター(089-909-3483)」に電話相談し、案内に従って受診してください。詳しくは県ホームページをご確認ください。

『愛媛県ホームページ 新型コロナウイルス感染症に関する情報』 ⇨



発生動向の概況

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、第23週0.9人から第24週1.4人と増加しました。県内では、過去10年と比較して最も早い時期に流行が開始しました。この疾患は、2歳以下の乳幼児を中心に流行し、主な症状は発熱や鼻汁、咳などですが、特に6ヶ月未満の乳児では、重症化することがあるため注意が必要です。感染予防のため、液体せっけんと流水での手洗いを励行しましょう。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は、第23週10.2人から第24週8.1人と減少しました。引き続き感染予防のため、調理・食事の前、トイレの後は液体せっけんと流水で十分に手を洗いましょう。また、患者の嘔吐物やふん便を処理する際は、使い捨てのガウン(エプロン)手袋、マスクを着用しましょう。

腸管出血性大腸菌感染症の届出が1例ありました。この感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する病原大腸菌で、この菌に汚染された食物などを経口摂取することによって感染します。少量の菌でも感染し、重症化することがありますので、小児や高齢者など抵抗力の弱い方は特に注意が必要です。下痢、腹痛、血便などの症状がある場合は早めに医療機関を受診してください。食肉を使った料理をする際は、肉の中心部まで十分に加熱(75℃で1分間以上)し、加熱不十分な肉料理は食べないようにしましょう。また、調理後の食品は長時間室温に放置せず、早く食べるようにしましょう。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症

- 二類感染症：結核 3例
- 三類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1例(O111:20歳代女性)
- 五類感染症：梅毒 1例(20歳代女性 2021年県内累計36例)
- 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症 21例

*その他、新型コロナウイルス感染症の届出が第19週に1例、第21週に1例ありました。

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数)

疾病名	愛媛県推移	県内の傾向
RSウイルス感染症	1.4	増加。西条保健所、今治保健所で多い。
感染性胃腸炎	8.1	減少。
突発性発しん	0.7	横ばい。

解析評価委員のコメントから

RSウイルス感染症：[東予]西条市で流行っています。今治市、西条市で見られます。

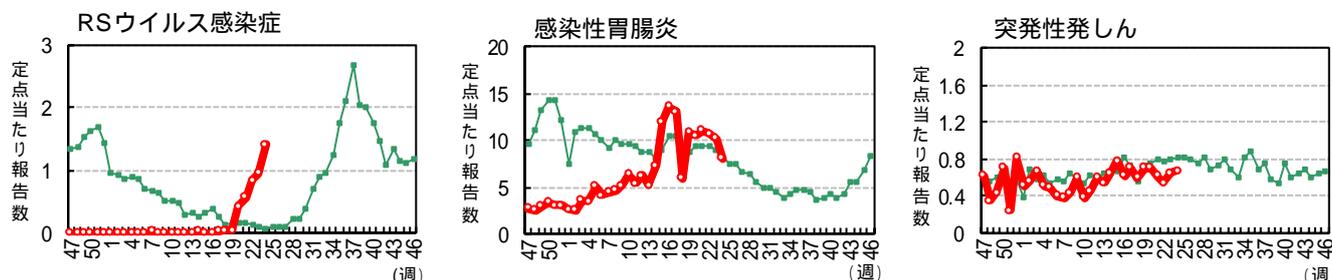
[中予]全く見られていません。 [南予]少数発生しています。

感染性胃腸炎：[東予]まだ流行っています。 [中予]減少しています。

[南予]相変わらず発生数は多く横ばいです。

突発性発しん：[東予]横ばいです。 [中予]わずかに増えています。 [南予]少数発生しており横ばいです。

過去30週の動向 (: 過去30週の動向、 : 過去10年の平均)



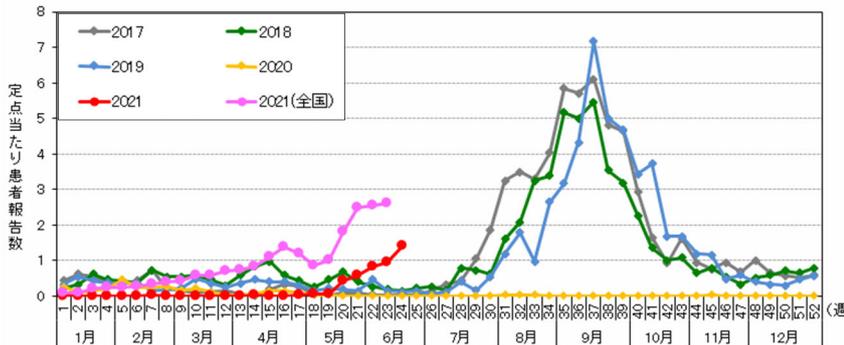
(注) 本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所単位での集計で、患者の住所によるものではありません。感染症情報に関するご意見、ご質問は eikanken@pref.ehime.lg.jp までお願い致します。

- 愛媛県におけるRSウイルス感染症の発生状況 - 令和3年6月23日現在

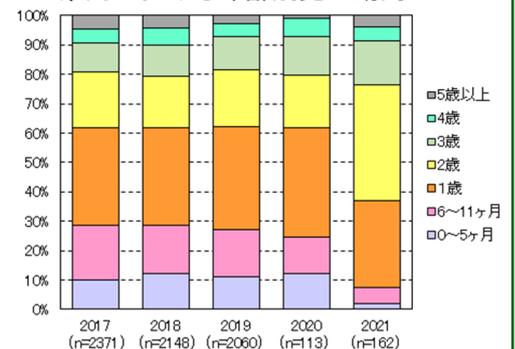
RSウイルス感染症の報告数が増加しています。特に西条保健所と今治保健所で多く、第24週の定点当り報告数は西条保健所5.7人、今治保健所3.2人でした。年齢別では、例年に比べ、2歳児が64例(40%)と多くを占めており、0歳児は12例(7%)と減少しています。また、RSウイルス感染症は、近年、7月頃から報告数が増加しますが、2020年は1年を通じて流行はありませんでした。2021年は、約2か月程度早く報告数が増加し、全国的にも早い時期に流行が開始しています。

この疾患は、RSウイルスによる呼吸器感染症で、感染者の咳やくしゃみのしぶきを吸い込む飛沫感染、ウイルスが付着した手や物(手すり、おもちゃ等)を触ったり、なめたりすることによる接触感染により感染します。多くは軽症ですみますが、初めての感染では症状が重くなりやすいことが知られており、特に生後6ヶ月未満の乳児が感染した場合には、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。咳等の呼吸器症状がある場合は、可能な限り乳幼児との接触を避けましょう。また、子どもたちが日常的に触れる手すりやおもちゃなどは、こまめにアルコール又は塩素系の消毒剤等で消毒し、液体せっけんとう流水による手洗いを励行しましょう。

RSウイルス感染症の週別発生動向



県内における年齢別発生動向



病原体検出情報

令和3年6月22日現在

- 第21週に松山市で採取されたA群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者検体からA群溶血性レンサ球菌が1例検出されました。T血清型別はTB3264型でした。

■ 過去5週 検出病原体

(2021年5月17日以降採取検体)

週	採取期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
21	5/24~5/30	松山市	溶レン菌咽頭炎	A群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1

■ 月別病原体検出結果

検体採取月		2021						合計
検出病原体		1	2	3	4	5	6	
ウイルス	コクサッキーA4				1			1
	アストロ				1			1
	ノロ		1		1			2
	サポ			1				1
	アデノ1		1					1
ウイルス計			2	1	3			6
細菌	A群溶レン菌	1			1	1		3
細菌計		1			1	1		3

■ 臨床診断別検出結果 (2021年4月以降採取検体)

検出病原体	A群溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	ヘルパンギーナ	合計
コクサッキーA4			1	1
アストロ		1		1
ノロ		1		1
ウイルス計		2	1	3
A群溶レン菌	2			2
細菌計	2			2

注) 表中の検出数は6月22日集計分であり、その後の検出結果は次号以降に反映されます。

咽頭ぬぐい液にはうがい液・鼻汁・鼻腔ぬぐい液等を含んでいます。

全国 定点把握感染症 2021年 第22、23週 (2021.5.31 ~ 6.13)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点										眼科定点		基幹定点					
		インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) ロタウイルス胃腸炎	3) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	4) クラミジア肺炎
22週	愛媛県	.8	.3	.6	10.7	.1	.0		.5	.5	.2		.6						
	近畿県	香川県	.7	.5	.4	7.4	.2	.2	.0	.6	2.0	.0		.2					
		徳島県	.3	.3	.3	3.1	.1			.5	.4	.0		.3					
		高知県	.8	.3	.5	8.2	.0	.1	.0	.5	2.4	.0		.3				.1	
	全 国	.0	2.6	.4	.6	3.6	.1	.1	.0	.5	.1	.1	.0	.2	.0	.0	.0	.0	
	北海道	.7	.4	1.1	1.7	.1		.0	.3	.0	.0		.0						
	東北	.0	2.2	.4	.6	2.7	.1	.0	.0	.5	.0	.1	.0	.1	.0	.0	.0	.0	
	関東	.0	1.3	.2	.4	3.6	.1	.1	.0	.5	.0	.1		.3		.0	.1		
	甲信越北陸	.0	3.2	.6	.8	3.3	.1	.1	.0	.4	.0	.0		.1	.0	.0	.0		
	東海	.0	4.7	.3	.5	3.1	.1	.1	.0	.3	.1	.0		.0		.1	.0		
近畿	.0	4.0	.5	.6	3.4	.1	.1	.0	.3	.1	.1		.1	.0		.0			
中国四国	.0	2.5	.4	.6	5.4	.1	.1	.0	.5	.5	.1		.2	.0	.0	.1			
九州沖縄	.0	2.4	.7	1.0	3.9	.2	.2	.0	.6	.1	.1		.5	.0	.0	.0			

(6.9集計)

23週	愛媛県	.9	.4	.7	10.2	.2	.1		.6	.2	.1		.5					
	近畿県	香川県	1.0	.5	.3	6.6	.0	.1		.6	3.3	.1						
		徳島県	1.0	.6	.3	3.2	.1			.7	1.3							
		高知県	2.6	.3	.5	6.9	.0	.1	.0	.5	1.4			.7				
	全 国	.0	2.6	.4	.6	3.3	.1	.1	.0	.4	.1	.1		.2	.0	.0	.0	.0
	北海道	.8	.4	.8	1.3	.1	.0	.0	.3	.0	.1			.0			.0	
	東北	.0	2.2	.4	.5	2.4	.2	.1	.0	.6	.0	.0		.2			.0	
	関東	.0	1.6	.3	.4	3.4	.1	.1	.0	.4	.1	.0		.3	.0	.0	.0	
	甲信越北陸	.0	3.8	.5	.7	3.5	.1	.1	.0	.4	.0	.0		.1			.0	
	東海	.0	4.5	.2	.5	2.7	.1	.1	.0	.3	.1	.0		.1	.0		.0	
近畿	.0	3.6	.4	.7	3.0	.1	.1	.0	.4	.1	.1		.2	.0	.0	.0		
中国四国	.0	2.3	.5	.5	4.9	.1	.1	.0	.4	.6	.1		.2	.0	.0	.0		
九州沖縄	.0	2.4	.8	1.2	3.9	.2	.3	.0	.6	.1	.1		.3	.0	.1	.0		

(6.16集計)

1) 鳥インフルエンザを除く。

2) 感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)。

3) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌が原因の髄膜炎を除く。 4) オウム病を除く。

